

応用物理学会超伝導分科会企画 2016 年春季シンポジウム

「銅酸化物超伝導体発見 30 周年記念シンポジウム」

“30th Anniversary Symposium on the Discovery of Cuprate Superconductors”

ベドノルツとミュラーによる銅酸化物超伝導体の発見から30周年の節目の年を迎えました。この発見は科学界のみならず一般社会にも大きな関心を持って迎えられ、空前の超伝導フィーバーを引き起こしました。超伝導転移温度が高いだけでなく、遷移金属酸化物という非常に多様な性質を持つ物質であったことは、物理、化学や工学分野において様々な新しい概念・技術を生み出し、今なお大きな波及効果をもたらしています。本シンポジウムでは、銅酸化物超伝導体の物性・理論、材料開発、およびアプリケーションにおいて、研究・開発の現在の到達点と今後の展望について議論します。

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス

日時：2016 年 3 月 19 日（土） 13:15～

招待講演（敬称略）

- ◆ 前田京剛（東京大学）
- ◆ 福山秀敏（東京理科大学）
- ◆ David Larbalestier (Florida State University)
- ◆ 飯島康裕(フジクラ)
- ◆ 田辺圭一(超電導工学研究所)

一般公演も募集しておりますので、是非お申込みください。

世話人：小田部荘司（九州工業大学）、高野義彦（物質・材料研究機構）、
宮田成紀（玉川大学）、川山巖（大阪大学）